



目次

第19回年次大会の
ご案内

p.1

博士後期課程修了者

p.1

学会員著書

p.2

機関誌『東洋大学社
会福祉研究』No.18
の発刊のお知らせ

p.2

司法福祉に関するシ
ンポジウムのお知ら
せ

p.3

事務局からの連絡

p.3

第19回東洋大学社会福祉学会総会・年次大会のご案内

新緑の季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、2025年度の第19回大会は、2025年8月2日（土）、東洋大学赤羽台キャンパス（HELSP0ホール：HUB3-3階）で開催いたします。大会前に総会も開催いたします。皆様のご参加をお待ちしています。

参加される場合は、7月27日（日）までに下記QRコード・URLにて申込みをお願いいたします。

<https://forms.gle/ahLjGHZdnr93iN6G9>



<2025年8月2日（土）>

12:00 大会受付開始

12:15～13:00 総会

13:00～15:45 年次大会

15:50～ 懇親会（HELSP0 食堂でお茶・お菓子等、新たな会員等の紹介）

16:45 解散予定

<年次大会：2024年度新規入職教員と博士号授与者の発表>

● 2024年度新規入職教員による発表：

「地域福祉ネットワーク形成の実態と課題：中国都市部における高齢者ケアと日本の障害者福祉の事例から」

発表者：

(1) 孫 心悦 会員（東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科 助教）

「中国都市部における高齢者ケアをめぐるネットワークづくりの実態と課題」

(2) 奥西 允 会員（東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科 実習助教）

「カフェ・喫茶における地域とのつながりを形成する障害者福祉実践の実態と課題」

コメンテーター：加山 弾 会員（東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科 教授）

● 2024年度博士号授与者による発表：

(1) 小俣 智子 会員「治療後の小児がん患者に対するピア・サポートを組み込んだ支援の研究—小児がん拠点病院および小児がん患者への定量・定性調査の分析から—」

コメンテーター：稲沢 公一 会員（東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科 教授）

(2) 上西 一貴 会員「終結を目的としないソーシャルワークの研究—コミュニティソーシャルワーカーへのインタビュー調査を中心に—」

コメンテーター：稲沢 公一 会員（東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科 教授）

- (3) 佐藤 健吾 会員「知的障害福祉の権利保障構造」
 コメンテーター：
 秋元 美世 会員（東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学研究科 元特任教授）
- (4) 鈴木 智子 会員「地域住民との連携・協働により社会資源を開発したソーシャルワーカーのプロフェッショナルコンピテンスに関する研究」
 コメンテーター：加山 弾 会員（東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科 教授）

博士号学位授与者 2024 年度博士号学位授与者は以下の方々です。おめでとうございます。

- 小俣 智子「治療後の小児がん患者に対するピア・サポートを組み込んだ支援の研究—小児がん拠点病院および小児がん患者への定量・定性調査の分析から—」（社会福祉学）
- 上西 一貴「終結を目的としないソーシャルワークの研究—コミュニティソーシャルワーカーへのインタビュー調査を中心に—」（社会福祉学）
- 鈴木 智子「地域住民との連携・協働により社会資源を開発したソーシャルワーカーのプロフェッショナルコンピテンスに関する研究」（社会福祉学）
- 西村 愛「知的障害者の親亡きあと問題の解決に向けた支援体制に関する研究—円滑なコミュニケーションが困難な重度知的障害者を生活主体者として地域で支援するために—」（社会福祉学）
- 志水 田鶴子「高次脳機能障害者の就労継続支援 B 型事業所への通所継続促進に関する研究—ソーシャルワークの視点に基づく支援方法の検討—」（社会福祉学）
- 佐藤 健吾「知的障害福祉の権利保障構造」（社会福祉学）
- 奥西 允「重度知的障害者支援における過程志向の意義—支援者の肯定的な感情体験に焦点を当てた定性・定量調査から—」（社会福祉学）

学会員著書 2024～2025 年出版の学会員著書（分担執筆も含む）をご紹介します。

- 劉 鵬瑤（2025）『中国都市部の社区小地域における支援システム—網格長による地域住民に密着した支援』明石書店。
- *学会員著書については、ニュースレター担当（小出 koide@toyo.jp）までお知らせください。掲載致します。

機関誌『東洋大学社会福祉研究』 No.18 発刊のお知らせ

機関誌『東洋大学社会福祉研究』 No.18 を、2025 年 7 月に発刊する予定です。2024 年度シンポジウム、学位取得者論文要旨、学会活動報告、投稿規程、執筆要領等を掲載しています。年次大会参加者には当日配布いたします。それ以外の年会費納入済みの会員には、ニュースレター（大会報告号）と一緒に、機関誌 No.18 を送付する予定です。

司法福祉に関するシンポジウム

『～米国の女性刑務所での動物介在プログラムが受刑者にもたらす心理的・社会的効果～(通訳付き)』のお知らせ

東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科では、上記の通り司法福祉に関するシンポジウムを開催いたします(協力:東洋大学社会福祉学会)。登壇者のお一人として、米国の女性刑務所で蝶の飼育を介在とした受刑者の更生支援を行っているケリー・ブッシュ氏(【Keli Bush】エバングリン州立大学)をお迎えし、今後の司法福祉のあり様に関するディスカッションを行います。我が国の法務省関係者も登壇予定です。

昨年度、社会福祉学科の教員数名とともにブッシュ氏の実践現場を視察しましたが、日本の一般的な刑務所とは全く異なり、大変興味深い実践が行われておりました。ぜひご参加ください。

(社会福祉学科 荻野剛史)



日時: 2025年6月28日(土) 午前10時～12時

場所: 東洋大学赤羽台キャンパス HELSPO ホール: HUB3-3階(対面のみ)

申込・問い合わせ: 右記のQRコードを読み取っていただき、Googleフォームからお名前とご所属、電子メールアドレス、携帯電話番号をご記入ください。

締切は、6月26日(木)正午です。

事務局からの連絡

● 東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科の近況報告

<2024年度退職者>

伊奈川秀和教授、是枝喜代治教授、藤林慶子教授、西村圭司実習助教、志村敬親実習助教、藤木聡美実習助教が2024年3月末をもって退職いたしました。

<2025年度新任教員>

林大介准教授、柏木志保准教授、鈴木千鶴実習助教、大塚桃子実習助教、劉鵬瑶実習助教が着任いたしました。

教員紹介ページをご覧ください。

<https://www.toyo.ac.jp/staff/>

● 年会費の納入について

<会費納入の口座変更のお知らせ>

2024年度に引き続き、下記口座への入金をお願いします(以前のゆうちょ銀行は、使用しないでください)。ご協力お願いいたします。

三井住友銀行 白山支店

口座番号 6689065

名前 白山社会福祉学会 事務局 金子光一

会費: 一般 2,000円、学部在学学生・大学院生 1,000円

学会機関誌は、年会費の納入のあった会員に配布しております。

● メールアドレスの情報提供について

今後学会からのお知らせ等をメールでもお伝えしたいと考えています。E メールアドレスの情報提供をお願い致します。下記までお名前・ご所属・E メールアドレス等をご記載の上、送信して下さい（既に提供済みの場合は、ご放念下さい）。

https://docs.google.com/forms/d/liG47QdGjA7h_qwDB_ywCJFrshgHZ9njvI3v8Cg7HPZY/edit?ts=62bd3bcc

HP 上にも Google フォーム, QR コードを記載しています。そちらもご活用ください。

※住所や勤務先の変更、ご意見・ご要望などございましたら、事務局までお知らせ下さい。



【事務局連絡先】

〒115-8650 東京都北区赤羽台 1-7-11 WELLB-HUB2

東洋大学社会福祉学会事務局 佐藤亜樹 Email : sato048@toyo.jp